

## 平成 29 年 「年頭のご挨拶」

一般社団法人日本地下鉄協会  
会 長 高島 宗一郎  
(福岡市長)



明けましておめでとうございます。皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日本の地下鉄は、1927年(昭和2年)12月に東京で開業以来、今年で90年を迎えます。この歴史の中で、都市の発展とともに開業・延伸を重ね、今や、北海道から九州まで、全国12都市で46路線、総延長831km、利用者は1日当たり1,668万人に達しており、まちとまちを繋ぎ、人と人を結ぶ交通機関として、市民生活や都市活動において非常に重要な役割を果たす存在になっております。

地下鉄は、地下走行による高速性と定時運行により、都市の交通渋滞を緩和しているほか、運行管理システムにより、高い安全性を確保しております。また、二酸化炭素排出量が少なく環境にやさしい公共交通機関であり、駅や車内は清潔で、高齢者や外国人など誰にでも利用しやすいユニバーサルデザイン(UD)にも配慮しています。

近年の緩やかな景気回復基調や中心市街地の活性化、政府の観光立国政策による訪日外国人の増加などにより、地下鉄での輸送人員は前年に引き続き増加傾向で推移してきております。今後、2019年にはラグビーワールドカップが、2020年には東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることから、更なるインバウンドの受け入れ環境整備が喫緊の課題となっております。

日本地下鉄協会では、これらの動向を踏まえ、ソフト面でのマナー向上の啓発をはじめ地下鉄の役割、魅力を更に高め、国内外に発信を進めていくとともに、安全対策や災害対策、バリアフリーへの取り組みをより一層進め、利用者の皆様の安全・安心の確保や地下鉄運営の効率化に引き続き貢献していきたいと考えております。

また、近年、安全・安心の観点から、地下鉄施設の耐震・浸水施設など維持・保守対策が大きな課題となってきました。今後、地下鉄事業者の技術や情報の共有、共同研究に重点を置いた活動を行ってまいります。

今年も、安全・安心、快適・便利、人にも環境にもやさしく、皆様に愛される交通機関として地下鉄の魅力を発信し、より多くの皆様に地下鉄を快適にご利用いただけるよう、協会が一丸となってさらにチャレンジして参りますので、変わらぬご支援ご指導をお願い申し上げます。

新しい年が、鉄道関係者の皆様にとりまして希望に満ちた、大いなる発展の年となりますことを心より祈念いたします。